

Close-up!

第 3 号
Chromebook 通信
教務 I C T 担当
令和 3 年 6 月 4 日 (火)

☆実践報告 Classroom・Meet を使ったオンラインHR・授業☆

使用機器：クロームブック（教員用）

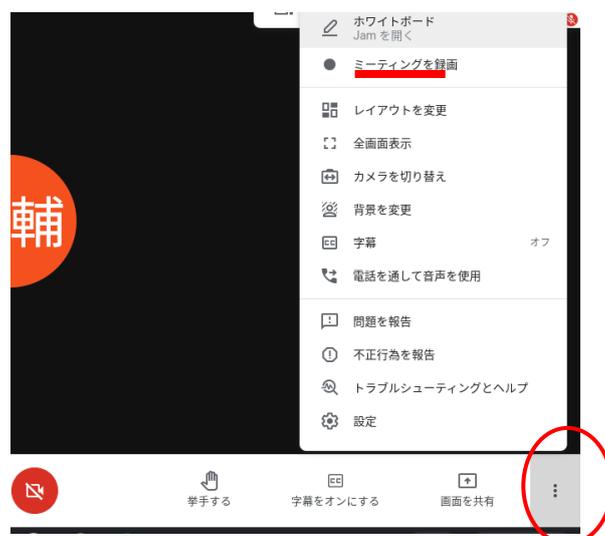
概要：オンラインHR・オンライン授業

クロームブックの役割：HR 担任や教科担任が Classroom を開設し、クラスコードを生徒に伝えておきます。クラスコードに Meet のリンクのための URL が自動で生成され、教師・生徒それぞれが自分の端末でクリックするとオンラインでつながることができます。

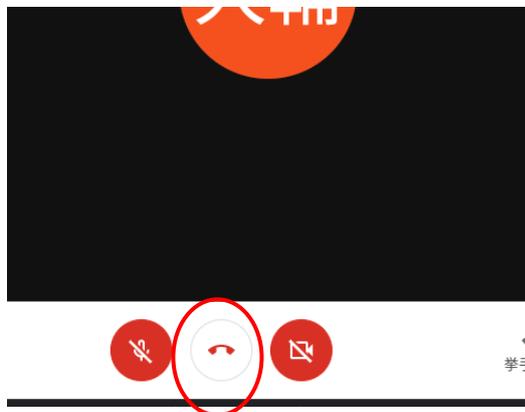


ポイント

- Meet でつないだら、右下の「縦に点3つ」から「設定」をクリックします。ここから「録画」が可能です。



- 接続を切るときは、参加者全員を退出させてから自分が退席するようにしてください。
(先に教員が退席してしまうと、残っている生徒の誰かがその Meet の管理者になってしまいます。) 下の電話のボタンをクリックすると、「自分だけ退出する」「電話を切る」のどちらにするかを聞かれます。「電話を切る」にすると、参加者全員が強制的に退出します。ちなみにここでしっかり退出することで、録画が完了となります。
 (以前に電話のボタンではなく、右上の×で終えたことがありましたが、そうすると録画されていませんでした)
 録画されたデータは、少し時間がかかった後、「My Drive」内の「Meet Recordings」というところに保存されます。



- あるといいもの
 モニター(インタラクティブボード・テレビ等) Chrome cast(無線で Chrome book に映っているものをモニターに映し出します。ただし、カメラで映しているものを Chrome cast で映すと反転してしまいます。)
- Zoom と違うところ
 - 新たにアプリをインストールすることなく、お手元の Chrome book に最初から入っている Meet を使って生徒とオンラインでつながることができます。
 - URL を共有さえ出来れば、ID・パスワードなしで使えます。
 - Meet は最大49人まで一度に画面に表示できます。(録画ボタンの下の「レイアウト変更」から変えることが可能)
 - △Meet ではブレイクアウトルームができません。Zoom は教職員アカウントで入れれば設定で使用可能です。

成果

- 対面できなくても、コミュニケーションをとることができました。

課題

- Classroom はコメントを自由にすることができ、情報共有の場として役に立ちますが、コメントのルールはある程度決めたほうが良いと思います(コメントできなくすること、Classroom 開設者は削除されたコメントを見ることも可能)
- Meet のURL を生徒に公開する・しないは切り替えができます。公開中はいつでも Meet でつながることができるので、教師がいなくてもURLさえわかれば生徒同士でもつながることができてしまいます。URL の表示を消しても、どこかにコピーしていればいつでも生徒だけで利用可能となってしまいます。Classroom が変わらなければ Meet のURL も変わらないようなので、生徒同士では使わないといったような、Meet のルールを決める必要があるでしょう。

今後に向けて

- 程よいルール、使い方の指導體制などを整備できれば、どの回生でも使いやすく、非常に強力なツールとなると思います。
- カレンダーと併用したり、小グループに分けてグループごとにつなぐなど、まだまだいろいろな使い方がありそうです。「こんな使い方もあるよ!」というものがありましたら、担当まで教えてください。